



PARC海外ドキュメンタリーシリーズ 第一弾

今こそ原発を止めるために。

核の真実を伝える

渾身のドキュメンタリー。



ハード・レイン

「パンドラの箱から降り注ぐ放射能」

その箱を、開けてはいけないー。

原子力がもたらす、恐るべき汚染と危険

3.11 福島第一原発の 事故を受けて、 いま、選択のとき——。



HARD RAIN ハード・レイン

「パンドラの箱から降り注ぐ放射能」

一般価格 5,000円+税 / 図書館価格 10,000円+税

みんなで
見よう!

自主上映しませんか？

地域や学校などで自主上映を希望される方は
お問い合わせ下さい。

オーストラリアで、「温暖化対策」として原発の新設が検討され始めた。「チェルノブイリからはもう何十年も経っている。先入観に縛られず、議論を進めよう」と政治家たちが喧伝する中、「本当の情報」を求めて、監督デビッド・ブラッドベリは、ふるさとオーストラリアをはじめ、フランス、イギリス、中国、日本(広島・福井)の5カ国をめぐる旅に出た。

オーストラリア、カカドゥ国立公園の美しい自然や、アボリジニーの聖地を切り開いて作られたウラン鉱山は、大量の水と電気を使用し、大量の二酸化炭素を排出していた。残土や鉱さい、鉱床からの放射能汚染はさらに深刻で、近隣の先住民族の暮らしや労働者を脅かしていた。

日本やフランスなど、原発を抱える地には、事故や地震、温排水による川の水質悪化などへの不安を語る人びとがいた。イギリスの再処理工場では、大規模な放射能漏れが発生、がんや白血病が増えていた——。行く先々で語られる、『安全』でも、『安価』でも、『エコ』でもない原子力の姿。そこには、核の軍事利用との関係も見え隠れする。

放射能の害は誰でも知ってるはずなのに、それでもなお私たちは原子力を使い続けるのか——？

福島をはじめとして、日本の原発でも使われてきたオーストラリア産ウラン。その産出現場やウラン鉱山をめぐる圧巻の映像と情報量。



David Bradbury監督

オーストラリアのフリーランス映画監督。オーストラリア国立大学卒業後、1972年よりオーストラリア放送協会(ABC)に入社し、ジャーナリズムの世界に足を踏み入れる。以来、様々な社会問題に焦点を当てた計21作品のドキュメンタリーを制作。五つのオーストラリア映画協会賞と二度のアカデミー賞ノミネートを含め、複数の国際映画賞を受賞。代表的な作品としてウラン鉱山の開発に対する先住民族の抗議活動を追った「Jabiluka」(1997)、米軍による劣化ウラン弾の使用と軍需産業と核のごみの関係を追った「blowin' in the wind」(2005)など。

COMING
SOON!!!!

新作PARCビデオ

『原発、ほんまかいな?』

「二酸化炭素を出さない原発はエコ?」「原発は燃料の『リサイクル』ができる?」「原発は低コスト?」「原発がないと電気が足りなくなる」——? 電気事業連合会のパンフレットに書かれた「原発を推進する理由」に対し、関西のおばちゃんと専門家が一緒に突っ込みをいれまくる、教材用ビデオ&DVD。ウラン採掘の現場から、再処理、高速増殖炉、MOX燃料、ごみ問題、本当のコスト、被曝労働や事故、運転中の放射能漏れ、放射能が体に与える害、地域と原発の関係性まで、「原発問題」を総ざらい。ひとつひとつの事実を追ひ、「原発のない」社会をともに構想する。

■監修:監修:細川弘明(京都精華大学、PARC代表理事) ■お話:大島堅一さん(立命館大学)、小出裕章さん(京都大学原子炉実験所)、崎山比早子さん(元放射線医学総合研究所)、根本敬さん(福島県農民連)、渡辺美紀子さん(原子力資料情報室)、イボンヌ・マルガルさん(豪州カカドゥの先住民族ミラル)、匿名(元原発労働者)など

【PARCとは】

特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター(通称PARC:パルク)は、南と北の人びとが対等・平等に生きることのできるオルタナティブな(今のようでない、もうひとつの)社会をつくることをめざしています。世界からの情報収集や発信、研究、自由学校を中心とした教育、さまざまな講演会やワークショップ、政府や国際機関への政策提言活動など多面的な市民活動を行っています。わたしたちは、自分が変わることによって日本の社会が変わり、南の人びとと共に生きていける社会ができると考えています。世界の多様な人びとと国境を越えて出会い、考えや視野を広げるようエンパワーしあい、ネットワークを広げるための媒介役となることをめざしています。

【PARCビデオとは】

世界の現実をとらえ、社会を見つめなおす視点を提供する映像作品を制作、販売しています。これまでに、『バナナ植民地フィリピン』、『エビの向こうにアジアが見える』『女たちが語るインド』『巨大ダムの終わり』『働く子どもたち』『コーヒーの秘密』など20本以上のビデオ作品があります。図書館や学校現場、開発教育の現場などでひろく活用されています。

FAX注文票 [送信先FAX] 03-5209-3453

お届け先お名前	〒()	TEL () FAX ()
お届け先ご住所		E-mail
請求書宛名 (お届け先お名前と同じ場合、ご記入は不要です)		
☐ 一般価格 5,000円+税 ☐ 図書館価格 10,000円+税 ※価格に送料は含まれておりません。 ※不特定多数の方への貸し出しを行う場合、図書館価格となり倍額申し受けます。		
PARC会員ですか? ☐ はい ☐ いいえ ※PARC会員の方は上記金額から2割引でご購入頂けます。		



特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター(PARC) / 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F
TEL:03-5209-3455 / FAX:03-5209-3453 / E-mail:office@parc-jp.org / HP:http://www.parc-jp.org/